

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～

7/31
(月)



第4回わっさむドキドキクラブ

中和の西川農園で、田んぼの生き物さがしを行いました。

11名の子どもたちと、北のきらきらキッズプロジェクトの皆さん、上川農業改良普及センターの表さんに指導してもらい素足で水田に住む生き物を調査しました。

始めは素足に抵抗がありましたが、どんどん水田の中へ進み、たくさんの生き物を捕まえては歓喜の声を上げていました。

途中で雨が降り出して地区会館の中での観察になりましたが、子どもたちにとっては多くのことを体験できた一日になりました。



7/11～15
(火～土)

通学合宿～わっさむスクール～

小学生16名が参加し、通学合宿わっさむスクールを行いました。子どもたちは4泊5日で公民館に合宿しながら学校に通い、集団生活の中で決まりを守る習慣を学びました。(写真はジュースの糖分を見ている様子)

子どもたちは、指導者や学生ボランティアたちからの指導を受け、学習・読書習慣の定着や早寝早起きに一生懸命取り組んでいました。



8/8～10
(火～木)

第2期 1市2町合同ジュニアリーダー研修会

三笠山自然公園キャンプ場で3日間のリーダー研修会を行いました。

士別市、剣淵町、和寒町の1市2町から総勢30名の小学5年生とサブリーダーが集まり、和寒からは10名が参加しました。

参加した子どもたちは6月の第1期で学んだことを活かし、すぐにお互いに仲良くなり、テントをたて、野外炊事や自分たちで買い物をして焼肉をするなどの体験を通してリーダーに必要なことを学びました。



7/21
(金)

あへあほ体操で体スッキリ

公民館を会場に公民館講座「あへあほ体操」を開催しました。

講師はフリーインストラクターの高田まいさんで、10名の参加者があへあほの呼吸法での軽運動にチャレンジしました。

「お腹をへこますだけ」と高田さんは簡単に言っていたのですが、思っている以上に大変な運動で、講座を終えた参加者は心地よい汗をかき、体がスッキリして背筋が伸びているように見えました。



北海道年齢別トランポリン大会

9月9日～10日の2日間、和寒町総合体育館で北海道年齢別トランポリン競技選手権大会が開催されました。

全道各地から100名以上の選手が集まり、各年齢別のグループに分かれて競技が行われ、和寒町トランポリンクラブ（合田鉄雄会長）からは2名の選手が出場しました。

女子17歳以上の部に出場した井川愁さんが5位入賞、男子11歳～12歳の部に出場した山中尚太郎さん（写真）が15位の成績を収めました。



身近な木材や森林について学ぶ

8月28日～30日の3日間、ふれあいのもりを会場に木育（森林体験活動）が行われました。この活動は、昨年に引き続き2年目となり上川総合振興局や指導林家の協力を得て、木材を利用したり森林の散策を通して、木材や森林に対して親しみもてるよう、講演と制作活動を主に、低学年ではしおり、中学年ではコースター、高学年では表札を製作し、木に興味や関心を引き親しみを持つように工夫されていました。森林面積が町全体の約65%を占めている和寒町で、木育はますます重要度が増してきます。子どもたちは、担当者の話に熱心に耳を傾け、木材や森林の活用について真剣に学んでいました。



友好町 天塩町で和寒をPR

天塩町鏡沿海浜公園で「第10回てしお味覚まつり」が開催され、和寒町からは、かぼちゃ団子の無料配付と農産物等の販売ブースを出店してPRしてきました。

お祭り当日はとても良い天気、農産物、お菓子の販売や餅まきを行い、来場者からは、「美味しい」「これ好きなんだ」と喜びの声を聞くことができました。

天塩町とは友好交流として、毎年お互いのイベントに参加するなど交流を深めています。



地域公開参観日

和寒小学校で、地域公開参観日が開催されました。保護者だけでなく、日頃学校での子どもたちの様子を知る機会が少ない地域の方々にも来てもらおうと、小学校で毎年取り組んでいます。

この日は児童の保護者や祖父母を中心に、多くの方々学校を訪れました。

地域ぐるみで子どもたちの成長を支えるため、今後も引き続き皆さんのお越しをお待ちしています。